

世界政府の樹立を
ツケを子どもに回すな 1部 270円
生態系の尊重を 6部 1600円
毎月5日発行 12部 3200円

市民運動新聞

発行：市民運動新聞編集委員会
〒184-0011東京都小金井市東町4-15-29
電話：042-383-6464
http://www.shimin-undo-np.jp/

昭和天皇、戦争責任、戦争放棄を通じて天皇制の光と影を論じよう 編集委員 佐野 浩

私は本紙の2015年6月号で「5月3日の憲法記念日に『憲法九条の成立過程』につき論述が少なく、まして『憲法九条と昭和天皇の戦争責任』については論述が全くない」と指摘した。一年半たった今年の憲法発布70年の11月4日読売新聞は12・13面で「天皇・九条議論、曲折経て制定」を、朝日新聞も11月20日20・21面で「退位・免責揺れた地位」を報じた。

読売は「憲法制定当初、どのような経緯で憲法が出来たかを国民は知らされなかった」と、私の主張を追認した上で、1946年2月3日、マッカーサー占領軍最高司令官がGHQ(連合軍総司令部)民政局に天皇制維持、戦争放棄、封建的制度の廃止、の三原則を示し、憲法草案の作成を指示した。

1954年の当時の自由党の憲法調査会に於いて、松本蒸治元国務相は、GHQ民政局長のホイットニーから示された戦争放棄等の憲法草案を受け入れないと「天皇の身体が保障されない」と言われた」と証言した。

他方、朝日新聞は前述の1946年2月3日のGHQ民政局への戦争放棄等の憲法三原則の作成指示の前に、マッカーサー最高司令官は幣原喜重郎首相と会い「戦争放棄を世界に声明し、天皇をシンボルとする以外に天皇制を守れない」との認識で一致したと報じている。

「昭和天皇に戦争責任はある」との発言で右翼に銃撃された本島長崎市長事件、小尻記者を死亡させた朝日新聞阪神支局襲撃事件等のためか、両紙の記事は抑制気味である。発布70年にしてようやく「天皇と戦争責任と戦争放棄」の間を全国紙が報じた事を喜びつつ、平成天皇の退位問題についても、天皇制を含めた光と影を等しく論ずる事を望む。

がん検診市議91%が検診充実に賛成 アンケート 自己負担額は財政状況と低所得者への配慮が必要

市のがん対策はがんに苦しむ市民に対する配慮が欠けているのではないかと、本紙は8月号から乳がんと前立腺がんの自治体検診の在り方について調査してきた。今号では小金井全市議24名にアンケートを実施し、18名から回答を得た。結果は市のがん検診体制充実に91%が賛成であった。質問事項と回答内容は左下の通り。党、会派を中心に各市議の意見の要旨を掲載する。尚、6名の市議からは回答をいただけなかったのは残念である。回答全文は本紙HPで公開予定である。



質問事項

- 問1. 市の乳がん検診結果通知において、マンモグラフィー(乳房エックス線撮影)で異常が見えにくい場合はそれを伝え、超音波検査を勧めるべきと考えるか。
- 問2. 小金井市の乳がん検診で、近隣他市同様の自己負担で「超音波検査」も選べるようにすべきか。
- 問3. 近隣他市同様の自己負担で市の検診で前立腺がん検診(PSA検査)を実施すべきか。

回答内容

市議名前	質問事項		
	問1 乳がん検診 結果通知 方法の改善	問2 乳がん検診 超音波検査 実施	問3 前立腺がん PSA検査 実施
湯沢綾子 市議			
鈴木成夫 市議			
岸田正義 市議			
坂井えつ子 市議			
片山 薫 市議			
遠藤百合子 市議			
渡辺ふき子 市議			
小林正樹 市議			
齋藤康夫 市議			
百瀬和浩 市議	×	×	×
水上洋志 市議			
関根優司 市議			
紀由紀子 市議			
宮下 誠 市議			
藤原ひろし 市議			
渡辺大三 市議			
板倉真也 市議			
森戸洋子 市議			

回答不掲載希望

行財政を考える小金井市民の会会員による「稲葉市政の通信簿」を連載します。今回は元市長 佐藤和雄氏の投稿です。読者と一緒に考えていければ幸いです。(編集部)

稲葉市政の通信簿 佐藤 和雄

迷走劇からの教訓
16年にわたる稲葉市政の全体をこの小欄で的確に評価しうる能力を、私は持ち合わせていない。それでも編集者からのご依頼をお受けしたのは、私たちの市政を考える材料と視座を、いくばくかでもご提供したいという思いからだ。

あらゆる政治の営みについて言えるのだろうが、とりわけ私たちに最も身近な小金井市政への評価は、政治的な思惑から遠く離れ、多くの人の共感を得るものでなければ、生産的ではない。

そのことに留意しつつ、以下のテーマを取り上げたい。小金井市政に関心を持つ市民たちが隣接する自治体と見比べてしばしば嘆く「計画的行政」の弱さについてである。

その代表例が、役所内での検討開始から実に30年に及ぶ新庁舎建設問題だ。市は新庁舎建設用地として、蛇の目工場跡地を1992年に120億円で購入。ローンの支払いと第二庁舎の借上げ料が、市財政へのボディーブローとなってきた。

稲葉氏は市長就任の翌2000年3月、そ

れまでの方針を大転換し、「(武蔵小金井駅南口の第二地区に)市庁舎の建設を含め、再開発をさせていただきたい」と表明。「平成20年(2008年)度末には新庁舎ができる」とも繰り返し、市広報でも大々的に喧伝していた。

しかし、市長の楽観的見通しはずれ、南口再開発の第二地区は動き出さず、市庁舎建設の場所は、再び蛇の目跡地へ。稲葉氏は2013年4月、新庁舎建設基本計画の策定を受け、「建設を着実に進めたい」と、市民に確約した。

そのわずか1年半後。稲葉氏は確約を翻し、新庁舎建設を凍結。代わりに第二庁舎を買い取る案を市議会に提示し、市民や議会の大反発を受けて、撤回したことは記憶に新しい。

この迷走劇から学ぶべき教訓は少なくない。特に強調したいのは、計画変転の主因とされた財源問題である。計画的に財源をねん出できなかったのは、《新庁舎の意義を市民と共有し、他の市事業を大胆に見直す》ことができなかったためだ。この教訓を忘れてはならない。

多 摩地域の非正規雇用の割合は54.1%と全国平均の37%を上回っていることが分かった。多摩の立地企業は2012年約12万6千件で、ピークの1996年より

1割減。工場に限ると08年までの25年間で約4割減とのこと。来年3月末には東芝青梅事業所も閉鎖予定。企業が減り続ける多摩での若者就労支援が大きな課題となっている。

2017年4月 保育士 募集

就職支度金 70,000円 支給

A 保育士(幹部候補) 月額270,060円 ~ 275,695円
B 保育士(初任) 月額209,475円 ~ 231,210円

その他の手当: 住宅手当 月額 52,500円 ~ 82,000円 (社宅入居の場合)
皆勤手当 月額 4,000円
扶養児童手当 月額 3,000円 ~ 13,000円

理事長室 事務室 第四コスモ認可保育園
詳しくは右記まで 小金井市梶野町5-3-25-210 TEL 042-383-3030
駅前コスモ認可保育園 武蔵境コスモ認可保育園
小金井市東町4-4-2-1-206 TEL 042-383-7755 武蔵野市境1-20-5 TEL 0422-55-8686
第二コスモ認可保育園 第六コスモ認可保育園
小金井市梶野町5-8-20-B TEL 042-316-6464 小金井市梶野町5-3-25-211 (2017年4月開園予定)
荻窪コスモ認証保育園 成田コスモ認可保育園
2017年4月開園予定 杉並区荻窪5-6-5-1F TEL 03-3220-3535 (2017年4月開園予定)

小・中・高生 個人指導&少人数指導 **東進塾** 小・中・高生 個人指導で弱点補強!!

冬期講習生募集

前期: 12月24日(土)、26日(月)、27日(火)、28日(水)
後期: 1月4日(水)、5日(木)、6日(金)、7日(土)

講習料金例
1対1コース(完全個人指導)
小・中・高生 1科目 4日間 12,000円
1科目 全8日間 22,800円

少人数クラスも開講! 詳しくはお問合せ下さい
(コスモ教育センター)
小金井市東町4-46-12 コグレビル201
TEL(代) 042-383-6464
FAX 042-383-6465

2017年4月 新小1・小2生
英・国・算クラス 開講予定